

## 経済のグローバル化と自然資源・生態系サービス： 貿易理論史との関係を中心に

山川俊和<sup>\*</sup>

- 1：「自然資源経済論」の視点と経済のグローバル化
  - 資源・環境経済学と自然資源経済論の異同
  - 市場、コミュニティ、ガバナンス：その関係と重層性への視点
  - 「伝統的な稀少性」と「新しい稀少性」
  - 「生態系サービス」と「生態系サービス支払い」
  
- 2：貿易理論史における「自然資源」の取り扱いについて
  - 古典派における価値論と蓄積論：リカードとマルサス
  - 新古典派における貿易パターンの解明：H=O=V モデル
  - 生態学的赤字の問題と自然資本、生態系サービスの持続可能性：エコロジ  
ー経済学の視点
  
- 3：政策論的視点
  - 国際的な費用負担とその制度をどう考えるか

### 参考文献

- 山川俊和 (2011) 「自然資源経済と国際貿易：理論と政策に関する諸論点」 寺西俊一・石田信隆編著『自然資源経済論入門②』中央経済社、279-295 頁。
- 山川俊和 (2012) 「自然資源経済論からの貿易論・序説」『一橋経済学』（一橋大学大学院経済学研究科）第 5 卷 2 号、77-99 頁。

---

<sup>\*</sup> 下関市立大学経済学部 yamakawa@shimonoseki-cu.ac.jp